

二級水系  
流域治水プロジェクト

おおさわがわ  
大沢川水系流域治水プロジェクト【位置図】（北海道）  
～日本最北端の礼文島の北部を守る流域治水～

R6.3

○令和元年東日本台風等、全国各地で甚大な被害が発生している。今後、大沢川水系の流域においても気候変動の影響により降雨量が増大し、水害が激甚化・頻発化する恐れがある。このような水災害リスクの増大に備えるため、河川等の管理者が行う対策に加え流域全体のあらゆる関係者が協働することで、流域における被害の軽減を図る。

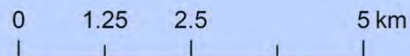


- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・河道掘削、樹木伐採等
  - ・植栽、間伐等の森林整備

- 被害対象を減少させるための対策
  - ・宅地建物取引等に係る災害リスク情報の提供促進等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
  - ・情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化
  - ・洪水ハザードマップの周知・利用促進、防災教育、高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表
  - ・水防災意識の啓発のための広報の充実
  - ・水位計、監視カメラによる情報提供
  - ・早期復旧に備えた防災資材備蓄の検討・整備

- グリーンインフラの取り組み
  - ・動植物の生息・生育・繁殖環境の保全



- 凡 例 —
- 河川
  - ← 北海道知事管理区間
  - 流域界
  - 市街地(DID地区)
  - 国道
  - 道道

出典：地理院タイルに追記



河道掘削  
(宗谷総合振興局)



雑草や灌木を刈り払う作業実施  
(宗谷森林管理署)



津波ハザードマップ  
(礼文町)



1日防災学校  
(礼文町)

- 大沢川水系では、関係機関が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】 近年被害が発生した箇所や危険性が高い箇所において、河道掘削、樹木伐採、植栽・間伐等の森林整備を進める。
  - 【中長期】 引き続き河道掘削、樹木伐採、植栽・間伐等の森林整備を進める。
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策と合わせて、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策などを行い、流域全体として洪水被害の軽減を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、樹木伐採等	宗谷総合振興局	河道掘削	
	植栽、間伐等の森林整備	宗谷森林管理署、宗谷総合振興局		
被害対象を減少させるための対策	宅地建物取引等に係る災害リスク情報の提供促進等	礼文町	宅建業法で事前説明義務化	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化	宗谷総合振興局、礼文町	北海道防災ポータルによる情報提供、ホットラインによる水位情報の伝達	
	洪水ハザードマップの周知・利用促進、防災教育、高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表	宗谷総合振興局、礼文町	1日防災学校の実施、洪水浸水想定区域図の公表・周知、津波ハザードマップの改定・公表、高潮浸水シミュレーションの実施・公表、要配慮者利用施設での防災講話の実施	
	水防災意識の啓発のための広報の充実	宗谷総合振興局	啓発資料を掲示	
	水位計、監視カメラによる情報提供	宗谷総合振興局	水位計、監視カメラ	
	早期復旧に備えた防災資材備蓄の検討・整備	宗谷総合振興局	水防資機材の確保状況を情報提供	
グリーンインフラの取り組み	動植物の生息・生育・繁殖環境の保全	宗谷総合振興局		

今後の事業進捗によっては、工程が変更となる場合がある。

河川対策

- ・事業費：約1億円
- ・対策内容：河道掘削等